

萩野町内会だより

第 12 号

令和 7 年 12 月 3 日

発行：萩野町内会

文責：町内会長（ ）

いざというときのために
備えておきたい
知識と物品

萩野町内会自主防災組織

災害に備える研修会



《今回の主題》

“「津波警報」と「避難指示」の教訓や新たな対策と方向性”

“災害に役立つ知識の解説と説明（防災クイズ）”

11 月 19 日、町内会自主防災組織が主催する「災害に備える研修会」が町内会館で開催されました。

当日は、市役所総務課石川さんと大倉さんの派遣を頂き①カムチャッカ半島地震に伴う「津波警報」と「避難指示」を経験して得た教訓や新たに必要とされた対策と方向性について②先に市が開催した防災訓練時に使用された防災クイズについての解説と説明がされました。

具体的な話では、津波時の基本…海に向かって避難はしない。津波の来ない場所まで逃げる。

この度の避難では避難者の 80%以上が車を使った事から警報に伴う交通規制や通行止め等により渋滞が発生した。だからと言って車での避難が絶対にダメでは無く、必要な場合もありこの度の経験を元に新たな対策を考える事が重要となる。

災害も交通事故と同様でみんなが防災知識を持ちルールを守る事でゼロには出来なくとも事故を軽減できる様に情報による避難をする事で被害の軽減が確実に出来る。との解説には合点がいました。

また今回、市民からの要望

で避難後に困った事では、食料・飲料水の入手に難儀をした。

コンビニ等でも買えず避難所での配給無かった事を踏まえ市役所では備蓄品の一括管理から分散備蓄に切り替えた。

また避難所が暑いとの要望には市内の各学校にエアコンの

設置をこの秋に終えたとの説明。

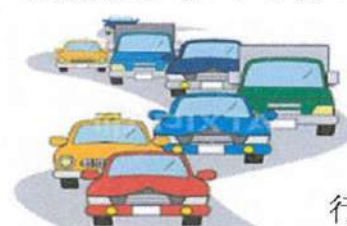
他にも、必要な情報が提供されなかった。津波避難計画による渋滞解消策が必要。何時警報が解除されるのか…本当に危険なのか分からなかった。

要支援者との避難では、子供が飽きてしまった。認知症の親との避難に難儀

した。等々の紹介がありました。

市役所でも要望に応える為に出来る事から改めている。との説明でした。

その後は防災クイズ 20 問をあれやこれや賑やかな話合いと解説があり、解散時には写真の非常食が配られ試食を勧められました。





地元氏神神社で初詣でを!!

今年も大晦日 31 日の午前中迄に役員で神社の清掃や除雪などを終えて、初詣の準備をしますので神社へのお供え物は、午後からお願いします。

また、大晦日の夜間参拝者用に社殿と足元を照らす街灯などの確保をしておきますので、初詣では地元氏神神社で如何でしょうか。



神棚のお礼は?

新年の年神様をお迎えするために神棚の「すす払い」に伴い使いの者が 12 月 4 日、お札と大福・恵比寿などの招福飾りを一緒に揃えて何時もの様に各家庭を回りますのでご活用を下さい。



宮司さんが各家庭を回るお祓い日は 12 月 6 日の土曜日です。



萩野地区担当の 民生委員が変わりました。

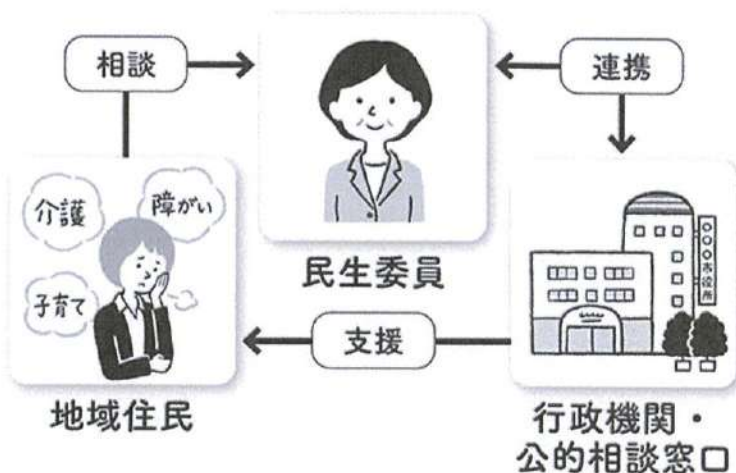
民生委員児童委員の一斉改選に伴いこれ迄の齊藤委員が退任となり、後任に佐々木美鶴さんが 12 月 1 日より新任の民生委員

児童委員としてみな様方のお困りごとを関係機関窓口へのお取次ぎをする事になりました。

佐々木美鶴さんは前任の齊藤委員と同様、萩野生まれの萩野育ちです。萩野地区のみな様方にもよく見かける地域の住民でもあります。

前任の齊藤委員は強面の鬼が怒ったような顔つきでしたが「美鶴さん」はその名にたがわず素敵な笑顔に増して優しい対応が出来る心強いお助けマンですので、地域のみな様方のお声掛けで、お引き回しのほどよろしくお願い致します。

民生委員の役割



「あとかき」

今年もあっという間にもう師走です。会員みな様方の今年はどうな一年でしたか?

日ハムの優勝争いで興奮をして、大リーグでは山本投手や大谷選手の活躍に大きな勇気を貰ったのは私だけではないと思います。

が、いまだ能登の傷も癒えぬ先日、大分県の大火には只々驚きでした。日に日に寒さが増すこの時期に本当に気の毒な事です。

高齢化で多くなった空き家が延焼拡大の要



因との記事の中に 100 名を超える避難者を出しても死亡者は 2 名に留められたのは、この地域に根付いた「共助」の精神が功を奏したと胸を張った。との報には熱いものを感じました。

顧みれば 30 年前に未曾有の被害を出した阪神・淡路大震災時でも外部からの助けは間に合わずご近所の「共助」が救援の主でありました。

この度も「ここは安全だ!」と避難をためらう高齢者を説得して災害の軽減につなげた「共助」、普段のご近所の助け合い「共助」に大拍手を…